



ジャーナリズムの課題  
戦争は、とめられるか。

# 本多勝一

(ジャーナリスト・元「朝日新聞」編集委員、  
現在「週刊金曜日」編集委員)

市民とジャーナリストを結ぶ  
**JCJ・12月集会**

来年は1960年の安保条約改定から50年。かつて、米国はベトナムに侵略し、日本は米軍の出撃拠点となって侵略に協力しました。しかし今回の講師である元「朝日新聞」記者の本多勝一氏をはじめ、多くのジャーナリストがベトナムの現地取材をして、戦争の実態を報道。内外で反戦運動の渦が広がり戦争を止める力になりました。現在はイラクで米国の侵略は続き、アフガニスタンへの増派も計画されています。「対テロ戦争」を大義名分に、日本も追随しています。「戦争への道」は過去の問題ではありません。ジャーナリストは今、何をすべきか。本多氏に聞きます。

★『戦場の村』(本多勝一著)の朗読 **宮崎絢子**—元テレビ東京・アナウンサー

**12月8日(火)6時30分 開会**  
ところ 自動車会館 東京都千代田区九段南4-8-13  
電話03・3264・4719  
参加費 1,000円 (学生 500円)

主催：日本ジャーナリスト会議(JCJ)  
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-8村松ビル401  
電話 03-3291-6475 ファックス03-3291-6478

